

新型コロナウイルス検査について ～ 顧客案内向け資料 ～

(1) 当協会では実施できる検査項目について、その特徴等を表にまとめたので、ご要望に合わせて検査方法を選択してください。

	PCR検査	抗原定量検査	抗体検査
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航者の陰性証明 ・県外出張者の陰性確認 ・帰省者の陰性確認 ・医療機関における入院患者等の陰性確認等 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外出張者の陰性確認 ・帰省者の陰性確認 ・医療機関や介護施設、旅館、飲食店等に 従事する方の陰性確認 特に、複数回、定期的に陰性確認を行う 必要のある方 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去感染したかの確認
検査目的	確定診断、陰性診断、治療経過の観察	確定診断、陰性診断、治療経過の観察	過去の感染確認
感 度	少量のウイルス量で検出が可能	PCR検査に比べると若干下がる (※)	—
検 体	鼻咽頭ぬぐい液 (唾液)	唾液 鼻咽頭ぬぐい液	血液
分析時間	最短75分	最短30分	3日程度
納 期	検体採取後、当日～2営業日以内	検体採取後、当日～2営業日以内	検体採取後1週間以内
料 金	自費診療：25,000円 (税別) ※医療機関向け等は診療点数のとおり	自費診療：9,800円 (税別) ※医療機関向け等は診療点数のとおり	自費診療：3,500円 (税別)

(2) 各検査の説明

検査方法	説明
PCR検査	<p>ウイルス特有の遺伝子配列を増幅して検出する方法で、現在、新型コロナウイルス検出に最も優れている検査方法です。検体に含まれる遺伝子がわずかでも判定できます。</p> <p>陽性だと新型コロナウイルスに感染しているといえますが、ウイルスが体内にあっても陰性になる（偽陰性）可能性が3割程度あるとされています。</p>
抗原定量検査	<p>ウイルスのタンパク質（抗原）に反応する物質を用いて測定する方法です。</p> <p>PCR検査と比べて検出感度は若干下がります（※）が、比較的簡便に測定ができます。</p> <p>陽性だと新型コロナウイルスに感染しているといえます。</p> <p>なお、検査の特性上、陰性陽性の判定ができない場合があります。このときには、PCR検査などをご検討ください。主要な空港（成田、羽田、セントレア、関空、福岡）での入国検疫で整備されています。</p>
抗体検査	<p>ウイルスそのものを検出する検査ではなく、ウイルスに感染したことによって体内でできた抗体を測定する方法です。</p> <p>陽性だと、過去に新型コロナウイルスに感染した可能性が高いといえますが、現在の感染状況は判断できません。</p> <p>また、抗体を持っていたとしても再感染しないとは限りません。</p>

（※）PCR検査との陽性一致率：91.7%、陰性一致率97.3%、全体一致率96.9%（メーカー発表）

(3) 対象者

県内居住、県にゆかりのある方

(4) 問合せ先

電話：083-933-0008 ダイヤルイン「4」PCR検査相談窓口